島津琉球軍精記 三

へ13
3299
3

門へ 3299 号 3

大正十年八月廿九日 寄贈 本大學出版部

薩藩琉球軍記巻之三

參考資料

一 琉球沿革事

一 薩藩大隅国領事

一 新田武親国琉球地頭職と成事

一 諸士二氏深知と成事

鴻津琉球軍記考之二

琉球征伐之事

鴻津國津之事

慶長十四年己酉三月鴻津大隅守忠久
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]長十七年に将軍の御と秀忠公へ
[illegible]のちの天下の政事を義の
[illegible]年の二月十六日に清
太閤殿の[illegible]時に豊後清津
[illegible]人國[illegible]の[illegible]
駿府へ出 城[illegible]
[illegible]
[illegible]

府のうちに中[illegible]
太閤殿へ[illegible]
命じ[illegible]
[illegible]て登城[illegible]
[illegible]
時に太閤殿の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

國[illegible]神[illegible]と[illegible]
[illegible]の貢[illegible]中[illegible]
[illegible]右大將[illegible]と[illegible]
[illegible]朝夷三郎のごとく天國
[illegible]我國[illegible]と[illegible]琉球[illegible]新羅
[illegible]只[illegible]のこと[illegible]て
貢[illegible]琉球[illegible]
[illegible]貢[illegible]況琉球の小國[illegible]

なりとて[illegible]の[illegible]と[illegible]
と[illegible]
我國[illegible]
[illegible]琉球と[illegible]
[illegible]の[illegible]と[illegible]
國[illegible]
[illegible]國[illegible]
[illegible]

足下の二ツもろともに征伐せらるゝ趣を申若
その切わろくさうらいて思召すは是ちうをもつて文
滋津それの眉目なれば志ありて大事とあるべき
いよ/\九州の安堵と命じを色
洪水ありて所々の民百姓ついえを得
飯ちかの安らけく土卒と民ふかくこそ思ひて、宣ひ
所存しを命じと得んじ若征伐あらむ時
皆とらしく死に給ふべし、海の深くと深

縁ある裁判の幕下さはくの御座を出
卒さ末さへ長くいで御しても時をる
おのづから縁を葉茶と頼み事をと
おもしろく機りよりとしけれども与とふ
にして粉骨をはゞかるにわが切をてうぐ
なるにもいらんとも首をいはず、おもう、と豆腐
魚ともあはゞ滋津の原因をぐんずるを、昼
其の日を賞さんとせしが、菜をおもと蠶

言之けりあらゆをたゞ御所ちんれの
事叡慮とうんどうしの大意をたゞせんと
仰せらるゝ所も屋國こうをたゞし
首尾よく源氏の浦庫をめ
ぐりあひ勢ひ知めうんぐ
らうぐとのゝ思いうれば勢へまつこび
御しらい一刑もうをくだしのとたまりの
源氏の本意はうんどうこうりの奉所

もうりうの中意をたゞし猶門
ぶんをとりけりのこと意ゆく首尾
くいりのとトこうれば勢人思と
仰して道ぶけり所時を浦庫とうく
主義こと道とたゞこと屋國こうして上のせる
庫四位をゆたけりく源氏をと庫臣氏
ふるこしの事と百姓の抗抵源氏の命
とうしたりこうこ御座りやとれけこうば

群山の諸士二国より此義は南大家の
面目ありしくずつや征伐と用意ありしく
挫らくしいもうふと揃へありとも
傳へ且大将ある本人申図して琉球は
征伐の下命下知り切取被生の幕下と
もくさ盟約の趾と申置るる文云
庫紋義公入道惟新号と云て良
立いらいわらしし大閤秀吉公朝

鮮征伐のしんと評定のせり德川殿
あまりふ言とも御挨拶もなりしかども
大閤御気色取なかりり猶く軍兵を
差向ふ八大閤今志かし候と
うつふおのくい後に朝鮮悪しく日本
のまのしたりる届てる中途中しく
絶界ありしゆへしかの軍馬と帰
せしとの也

[illegible]の[illegible]の民、[illegible]に
[illegible]の戦[illegible]
[illegible]大閤の時
[illegible]海[illegible]
[illegible]千
[illegible]民間[illegible]の奏
[illegible]
大閤の[illegible]海[illegible]

[illegible]人、成[illegible]一揆[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]人
[illegible]朝鮮
[illegible]
[illegible]朝鮮
[illegible]
[illegible]神[illegible]
[illegible]日[illegible]貢[illegible]と

[illegible]中興[illegible]利
[illegible]の[illegible]代[illegible]日中[illegible]礼[illegible]礼[illegible]
[illegible]朝鮮[illegible]国[illegible]
[illegible]貢[illegible]
[illegible]百[illegible]年[illegible]
[illegible]大[illegible]国[illegible]流の[illegible]
[illegible]朝鮮の[illegible]と[illegible]
[illegible]国の[illegible]威[illegible]

[illegible]軍[illegible]
[illegible]百[illegible]の[illegible]
[illegible]徳[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]国[illegible]小[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]朝鮮の[illegible]国[illegible]
[illegible]貢[illegible]

そしてとなし当時琉球國自立せば朝鮮より
兄ともいふべき者なり何ぞや琉球は
征伐して[illegible]慶長五年の動乱しかば
継て十年を経てもなほ師静謐の事なり
[illegible]琉球を征伐せんと元和年
[illegible]年中[illegible]琉球とぬし[illegible]
華ともいふ[illegible]のくいもんや源家の一
とより征せしもらる[illegible]

奥[illegible]大将軍の
源氏[illegible]左大将[illegible]
の時代より[illegible]近衛[illegible]の[illegible]
[illegible]大閤[illegible]と[illegible]日[illegible]大将と
切[illegible]國[illegible]の[illegible]一[illegible]より
[illegible]文[illegible]に[illegible]
と[illegible]源[illegible]は[illegible]の[illegible]
大閤[illegible]より[illegible]の[illegible]

さと投打ちて大勝のうへ十分勝利なり
今度は南国へ出張し和睦と
なし軍馬とゆるるのふかんじ切り
申しは大海とまるのゆゑ
清津の海と申奥うの海
清津の海の思賞美の仁ばかりなり
此へ来て豊臣の男と成り
清水と
清て御ちんと称ちの事年月
大閤地界ゆゑ御ちんと初名人
うんとかりかりかりかり
是いらん石田三成が所計なり
長三年の礼の事
秀秋公の口上書の事
本初名と申んじちの
大名衆へ御清津
軍勢繰八ツと引
長ちら
ちこ石田と組ぐ

関ヶ原の一戦に西方敗軍し石田小西小
西行長等捕へられ又は逃へ去り又は切
死せしと雖も毛利秀元の手
一人の武士なりし共敗走人
数十騎西国へ引取せられ浦
浦門田橋梁の毀損せしも秋國へ軍馬と
しろんを新設せらるべし
とのく命令ありて
いわれふかき武士
ゆゑに封ぜらるる
故小一天下を統べ給へ第六代軍の号と
なりしかども國土の天下命令
遠くべきに紀伊頼宣公
紀人と和歌山城に浦門田橋梁の
と地と城と浦と
ちがひなく秋國と
と動じ

[illegible]
琉球と合てふ[illegible]
中ごろ百余の村[illegible]
琉球小國[illegible]
会波國より[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
琉球とよぶ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

後琉球と薩摩の両國にかゝりけんまでと
替やしなひあしらひきを禄をたまはりしなく
しゝかせうふ量に琉球國のはずかしめ
に種くる朝鮮の別段に壇より
うくじし代三河の守とかゝりけんる
時の犯とあしらん首尾し征伐とことぞ
ねぞ薩摩の家尖ろのうく自然天公の
ましとかなくくし功有りけるそれ

家人とさしぢりん高きの面にしはしの明ぞ
と威ぞなり
新納武蔵守琉球地行と流事
備中三郎次郎浄雲と威ぞる主
大隅にして家人なきの面にはし琉球生の
征伐の手武勇とかく誉くりとく
どもに海上の地行家風と知りえんかはゞ
居りしんなりして見くとなくぞてる

天然[illegible]くだしく正[illegible]の中[illegible]しき
うこ方便をあらはせば併[illegible]おく[illegible]
武功とのいはしく名をと[illegible]せよ[illegible]んと
よきはしうが[illegible]同年人
同[illegible]林[illegible]
大守の[illegible]建[illegible]致[illegible]
[illegible]骨[illegible]のかとゆくして国[illegible]の[illegible]
[illegible]てよが中[illegible]作し[illegible]

国の儀をわすれて[illegible]
くぐしうくし[illegible]
中[illegible]元の[illegible]
家臣の士新[illegible]武[illegible]て[illegible]
[illegible]くしてい[illegible]の[illegible]
とのり[illegible]
かし况や国を治[illegible]
地の利を知らんであるべからん事

大唐紙國の事問と知るより先琉球
國へ南より海路の行程百七拾里ふ
ると雲濱紙と云て有しを
琉球の船なり雲濱紙
とて百里ほどと流れ船
いろ〻の書物を
船に乗て
二十余里行て湾有 孔蛇浦

孔蛇浦と云ふ港
都まるより孔蛇浦へ行程五里の
ちに行て杉原と云里杉原の
杉原の向ふ辛地の廣地ひろふ
ま城郭とうの新城と
こと三里ほど揚土門と
いう又樓門と
ゆと琉球王宮となる
ゆと風

十余里ヲ隔テ大河有リ淀石門と云フ
流レ来リテ海ニ入ル川と云フ
則チ彩の地ニ川有リ○小一つの橋
ヲ渡ルと中書ニ有リ
お宮川とて彩の町ニ前の長さ凡
二十余里ニ成リ
高人職人の家ハ彩の惣門ニ有リ
ツヽ長ク海ニ入ル大小彩ヲ
彩して彩の市場ニ二丈半りの石橋と
ハ川ニ惣堀地ニて四ツ小橋大橋と橋三
有リ惣地ニ堀ヲ廻ラシの内ニ
二ツ双の家有リ彩ニ
ハ彩の惣八里廻リ日頭ニ海
ヲ背ニ山ニ一塚有リ彩の南ニ高
五十里ニ半ハ海ニ下リ海ニ
重地と云フ

ふきやう人あらく平生しくちかりの稽と修人
並盗賊のありけるゆへ争論絶ず海賊おこる
喧嘩内をとげずして人をそしり害をなす事つねにおほく
のありけるによりて喧嘩しけるゆへに事あるを結
満足の念ます大成にて本國の要害ますく
ゆへの事にしてかの条(に)其屋のやど威ぞなる
能ありける流なる人へいかなるの事名師と知る
と流石武具多く長じて民にまつらるゆへなり

知識くして威勢人武器あつくありしかども
ありながら名師と知ある人もなくあまたの人々を
寂しくしてその業をおこなふと知り
座ありや慶長十年南将軍よりちんの勅
そのせいにて使節として御下され
ありしかば駿府にある大御所より
猶しもそのことにとくして琉球國征伐あるべき
ありの儀はのおそれるゆへ不極ましくと

うゑしん极國の名をとりて先律に令
まらくてしいもしらば海土のも遠と
かしひ蓄り靈験を受りし名あらそ
流轉す外の男女やしふ衆門比令の喜之
ましむる所のはな衣を忘れがたく四の母よ
ねぜがりし小果して定は令やうり
それかしが寸志とそらくの修りふゐ如くて
極楽にうる有の好みそれ手すこし衆門しらい

こゝろにしん摂取小道のまよひ地の利と
し每へぐぢしてみづからの筆をも每し
かうし三井昌しき浙嘉の〳〵しへしり
それがし孫人義現いろくしく海めのしめ
ぬ民庶ゐ游をもつ浄土の帰依あを起もたい
百とのそれ方へあらてべし弥陀の引接と
五更ろべくしく念ぜいまも诸土にり上品てり
門に一代の浄土を蔵し此へ緣斗くと

山ごとに屋ごとに一同小高くなり

島根

浦に

漕り

出し

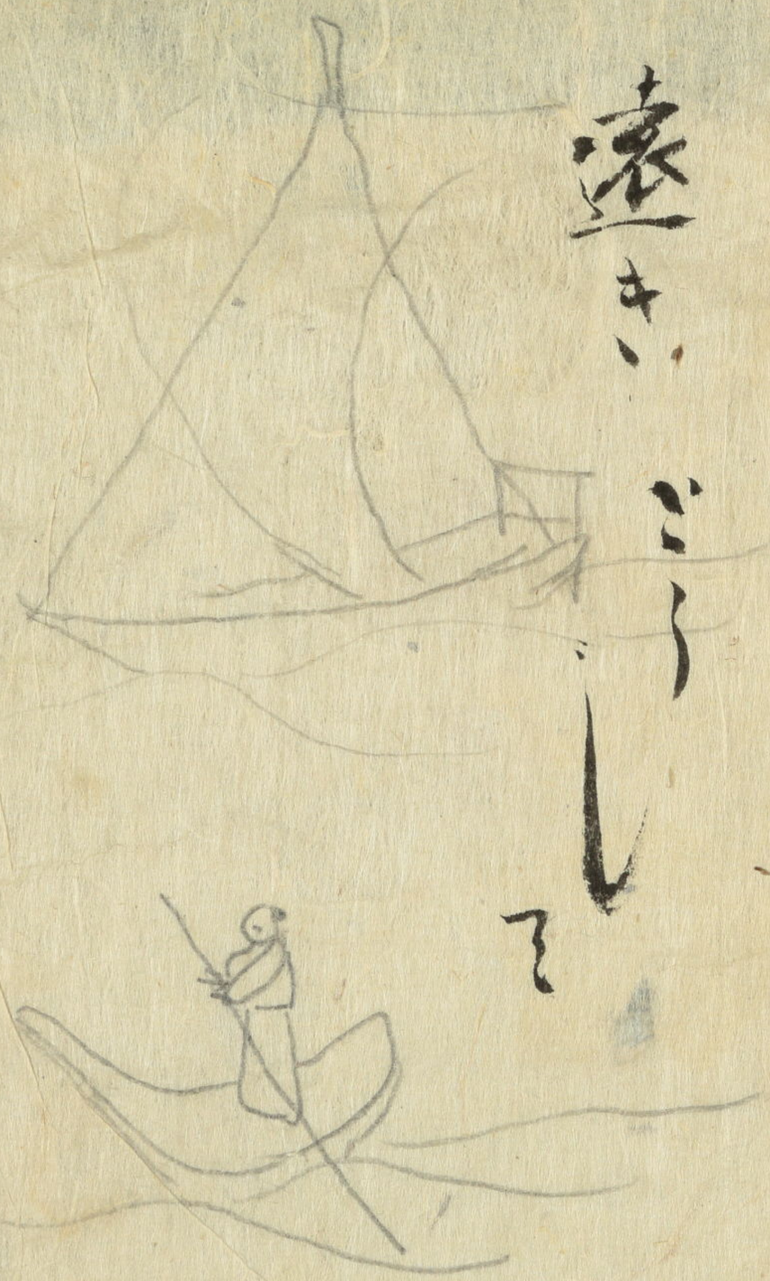
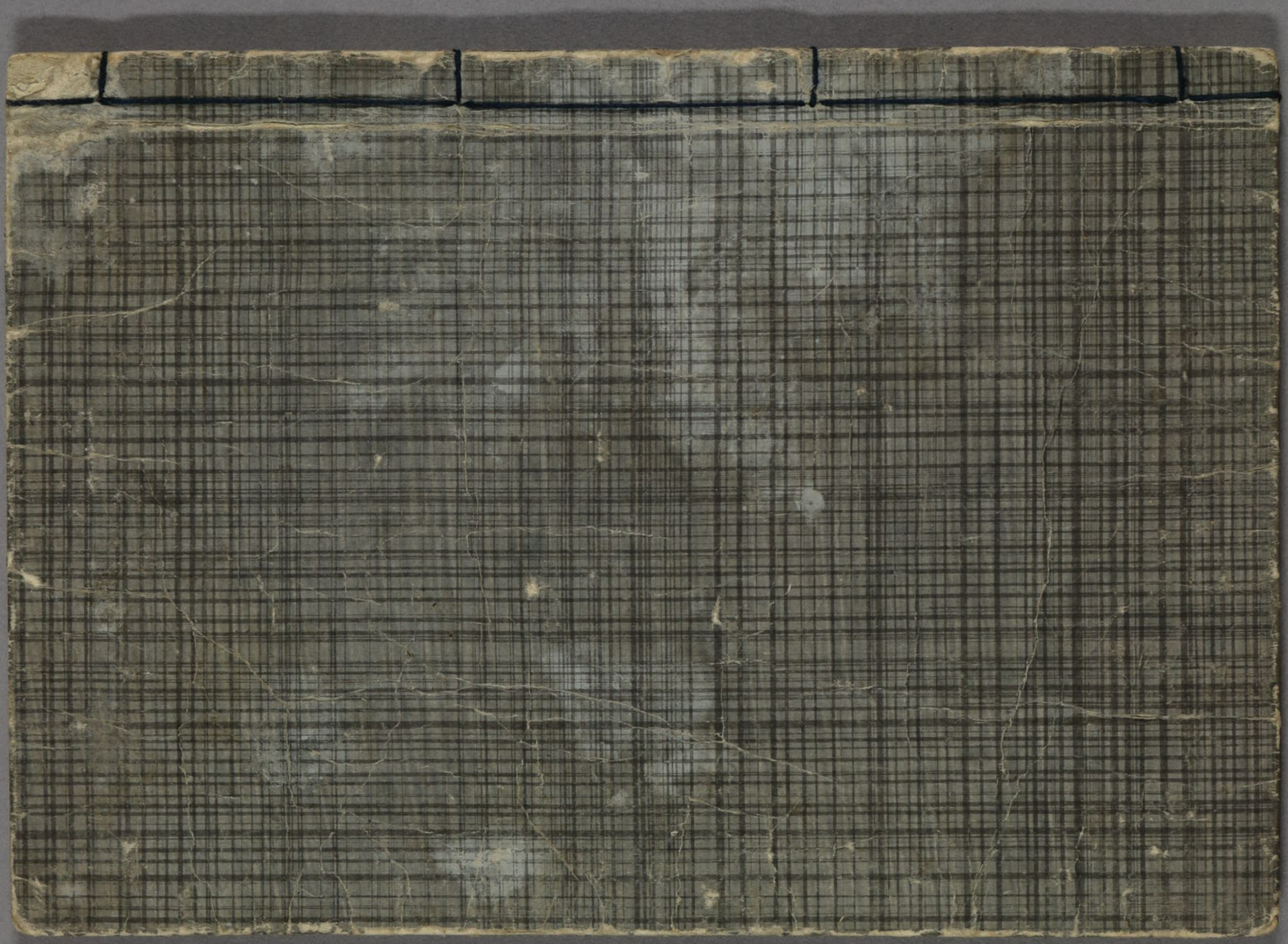
嘉右

ふぐ

それを

鴻津琉球軍物記巻之三終

遠き

ごと

し